



IP_STUDIO+緊急地震速報

概要説明



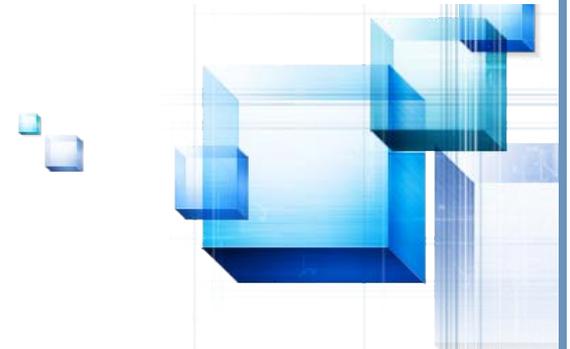
アイティ・ニュース

Contents



- 1 概要
- 2 基本システム構成
- 3 ソフトウェア構成
- 4 操作概要

概要



○本システムの主な概要

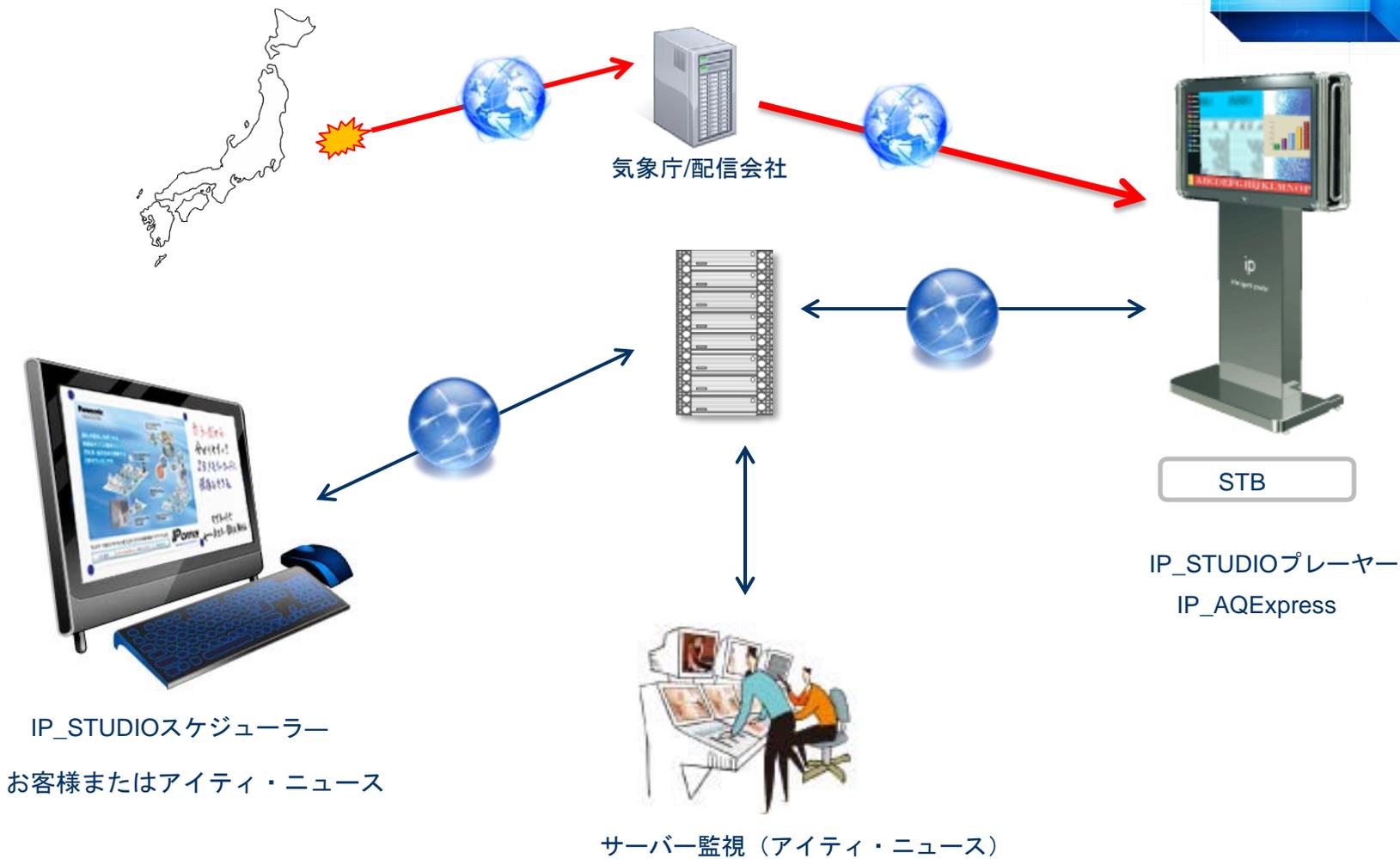
- 本システムは情報配信用に「IP_STUDIOⅢ」と地震速報用に「IP_AQExpress」を利用してデジタルサイネージと地震速報をオールインワンパッケージとして提供するものです。
- デジタルサイネージ用のIP_STUDIOはスケジュール・コンテンツ更新を行うスケジューラー（ホストPC）と表示を行うプレーヤー（ターミナルPC）およびサーバーを利用した配信システムで構成されます。
- 地震速報のIP_AQExpressは気象庁の観測データ（地震速報）をサーバー経由で端末に地震速報を表示します。通常はIP_STUDIOによる、情報配信ですが、地震発生時には緊急地震速報を画面に表示します。（割り込み機能）
- 地震速報の画面は予め震度（通常5弱以上の表示）によって表示される注意報画面が設定されています。気象庁・総務省などの指導による表示内容（文言など）

※地震速報配信に関しは免責事項等を承諾して頂いたとして運用下さい。
本概要説明の画面はイメージです。

基本システム構成



○サーバーを介してデジタルサイネージコンテンツと地震速報を配信します。



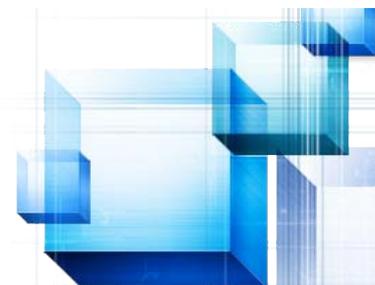
ソフトウェア構成と表示概要



IP_STUDIOスケジューラー

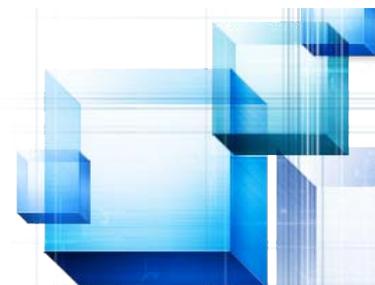


IP_STUDIOプレーヤー



	ホストPC	STB	STB
ソフトウェア	IP_STUDIOスケジューラー	IP_STUDIOプレーヤー	IP_AQExpress (地震速報)
OS	windows7	Windows7	windows7
起動	自動 (オートスタート)	自動 (オートスタート)	自動 (割り込み)
表示時間設定	スケジュール設定のより動画、静止画を配信	スケジューラーによる	地震発生時、閾値設定による (震度5弱以上等)
表示時間 (タイミング)		スケジュール設定どおり	地震発生後 1秒 表示時間 1分 (設定可能)
表示コンテンツ	スケジュール設定のより動画、静止画を配信	スケジューラーによる	予め設定されてる静止画像 (固定) 1.地震速報画面 2.避難場所画像等 (オプション)
対応端末数		1台から100台	
自動更新	可能 (AUTO_で実現)		

設定、操作、運用概要



- 表示端末側は初期設定が完了すると、通常手を加えることなく、自動運転となります。
- コンテンツ配信用サーバー、地震速報用サーバーは設定済みです。
《設定値はセキュリティ上別途ご連絡致します》
- ネットワークは安定した回線をご利用下さい。回線状況（接続状況）をIP_STUDIOから確認できません。IP_STUDIO（モニター機能）
- STBの死活監視もIP_STUDIOのモニター機能を利用します。
- ニュース、天気などの配信はスケジューラーでAUTO設定で自動配信します。

	ホストPC	DSサーバー	地震速報サーバー	STB
ソフトウェア、サーバー	IP_STUDIOスケジューラー	ITNEWSサーバー	配信サーバー	IP_STUDIOプレーヤー IP_AQExpress（地震速報）
初期設定	インストール済	設定済み	設定済み	インストール済
起動	自動（オートスタート）			自動（オートスタート）
設定変更など	デザイナー、スケジューラーなどで設定	ITNEWS	ITNEWS	特別な場合を除き不用
操作	各スケジューラーの機能を利用、デザイン設定、アップロード等			特別な場合を除き不用
運用	1.コンテンツ更新 手動、自動 2.端末監視（遠隔監視） スケジューラーのモニター機能			特別な場合を除き不用